

8 **KSports** **taiQ**
IN SODEGAURA
レギュレーション

2024年4月22日改訂

2024年大会から適用 変更箇所及び注意事項は赤字記載済

K Sports 耐久 大会概要

- 主 催 : K Sports Car Clubmanship (略称 KSCC)
K Sports 事務局 : 〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸 519-1 103
Email : ksportscarclubmanship@gmail.com (担当:伊藤 博)
- 開催場所 : 袖ヶ浦フォレストレースウェイ
- 大会内容 : 8時間耐久
- 開催日 : 2024年6月2日(日) ※前日の土曜日は、占有特別走行有り(有料)

イベント趣旨

参加者全員のしっかり準備とルール・マナーの順守による、
楽しく有意義な8時間耐久の完走を目的とします。
車両の改造は、車両レギュレーションを遵守頂ければ参加者の自由意思を尊重します。
ただし、安全性が担保出来ない車両は、事務局の判断により参加をお断りする場合がありますので、
ご心配な場合は、事務局にご相談下さい。

参加資格

- イベントの趣旨・ルールを理解されている方(応援含むチームに携わる全ての方)。
- ルール・マナー等を守り他の参加者と共に楽しくイベントに参加出来る方。
- イベント期間中、日本国内で有効な普通自動車以上の運転免許証所持者
(免許停止中は、不可)及び主催者が、認めた者(海外からの参加者)。
- K Sports の定めたレギュレーション・注意事項をチーム内で周知徹底出来る方。
- サーキット障害保険加入済、もしくは本イベント要の保険(有料¥2,000-)に加入頂ける方。

参加申し込み

- エントリー期間 : 2月15日(木)~4月30日(火)。
- 参加費用 : ¥130,000-(税込)※参加費用に燃料代金は、含まれません。(当日、精算)
連続3回のエントリー及び3月31日までの申し込みについては、¥5,000-の割引。
スペアーカー使用の場合は、事前に事務局に要申請 費用は、¥5,000-とする。
※スタートしてからのスペアーカー使用は、章典外とする。
- 参加ドライバー人数 : 2名以上、最大10名までとする。※但し健康上の観点より3名以上を強く推奨。
- 参加申し込み : K Sports HP の参加申し込みフォームより。
- 契約書 : 大会誓約書を HP よりダウンロードし必要事項を記入捺印(サイン可)して下さい。
チームリーダーは、誓約書表紙(メンバー表)をダウンロードして必要事項を記入して
第1ドライバーから順に最終ドライバーまでまとめて
大会当日の参加受付時に提出の事。
※参加ドライバーに変更があった場合は、変更された誓約書・メンバー表を
必ず**再提出**して下さい。
エントリーは、既定の手続き及び入金 completed してエントリーと認める。

参加申し込み条項

この大会に関連して起きた死亡・負傷その他の事故参加者及びスタッフ(同伴者)の受けた損害について主催者ならびにサーキットの従業員・係員・雇用者に対して非難したり損害賠償を請求したりする事は出来ません。

尚、事故が主催者及びサーキットの従業員に起因した場合でも変わり有りません。

また、施設及び機材、第三者へ損害を与えた場合には、その損害について弁償する事を約束して頂きます。

大会本部・その他

事務局：クラブハウス1階

参加受付：クラブハウス1階

駐車場

競技車輛：指定ピット 積載車：駐車場及びAパドック サービスカー：ピット裏及び駐車場

車検

ピットへ出張車検及び音量測定エリア

音量測定エリア

Aパドック(事務局前)

入場料・駐車料

無料

リーダーブリーフィング

7:00～7:10 K Sports 事務局横ブリーフィングルームにて

チームリーダーとスタートドライバーは参加必須(参加しない場合はペナルティ。点呼取ります)

章典について

総合での章典は設けない。各クラス毎での章典、表彰となります。

成立は、1台以上

9台以下の場合は、3位まで

10台以上は、6位まで

ある一定の時間帯における順位での賞ほかロイヤル&マナー賞等をフレキシブルに設定致します。

また、本大会完走車は、K4-GP 10時間耐久参加の際の条件

(5時間耐久または2024年冬の7時間耐久)が、免除されます。

K Sports 車輛規則

対象車両

軽自動車及びその内燃機を搭載した車両を基本形とする。

クラス区分

- **スタンダードカークラス**（市販の軽自動車をベースとした車輛）
 - SC-1(スタンダードカー:1 クラス) 850cc以下の車輛
 - SC-2(スタンダードカー:2 クラス) 851cc (ターボ係数 1.5倍)以上の車輛
 - SC-3(スタンダードカー:3 クラス) トルコン AT、CVT などの車輛

- **カスタムカークラス**(レーシングカーおよび自作車両)
 - CC-1(カスタムカー:1 クラス) 850cc以下の車輛
 - CC-2(カスタムカー:2 クラス) 851cc (ターボ係数 1.5倍)以上の車輛
 - CC-3(カスタムカー:3 クラス) 軽自動車ベース以外の内燃機車輛

- **ワンメイクカークラス**(軽自動車によるワンメイクイベントの NO 車輛)
 - OM(ワンメイク)当該レースのレギュレーションからの変更不可

※クラス区分が不明な場合や現状該当しない場合も事務局 伊藤までお問合せください。

ロールケージについて

安全性の観点からロールケージは強く推奨とする。

但し、入門レース形式イベントである K Sportsの位置付けを考慮し、

門戸を広げる意味からも装着必須とはしない。

ロールケージ未装着が重量上のメリットとならぬよう未装着車には給油時

のウェイトングタイムを1分間追加する(合計3分)。

安全性を担保できる事が絶対条件であり本イベント及び他の同様なイベントの動向によっては今後条件変更を行う。

全クラス共通

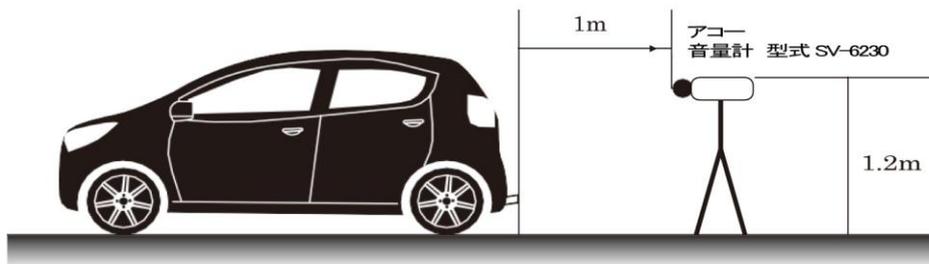
開催サーキットのルールにより、排気音量 95dB 以下

音量測定は、大会前日の特別有料スポーツ走行前に行う事も可能。

測定は、マフラー出口より後方に 1m 地面より1.2m の高さにセットし、

搭載エンジンの最高回転数から 1,500 rpm 落とした状態(空ぶかし)で測定。

例) 最高回転数が 7,500 rpm の車両は 6,000 rpm



※走行中に排気音量 が 96dB を超えた時にはオレンジボール旗にて強制ピットインとなる。
メンテナンスを施し音量チェックに合格した場合のみ再出走が認められる。

●灯火類: ヘッドライト・テールランプ・ストップランプ(CC Class はリアフォグも)を装備する。

なお、視認性確保の為にテールランプの無い車両は、反射テープ及び反射板を装備する。

●けん引フック: 前後のポイントを「赤色または黄色」で示す事。

レーシングカーは、ロールケージの代用を許可しマーキングをする。

●シートベルト: 4 点式以上の物とする。

●バッテリー: ドライバーと同一室内に設置する場合は、隔壁または不燃製品で覆う事。

ドライバッテリーは、隔壁無しでも可。

●消火器: 2kg以上の容量の物を搭載する事。

●タイヤ: メーカー・サイズ・使用本数は、自由。

但し S タイヤまでのコンパウンドとする。スリックタイヤは、不可。

●ステッカー: 他の大会のステッカーは、露出しない様にする(貼り付け禁止)。

●ゼッケン: エントリー時に希望ゼッケンを第3希望まで申請してください。

重複した際は、エントリー順とする。

ゼッケン書体は、縦 260mm × 横 380mm の
白色ベースに黒色幅 33mm の ゴシック体

1 文字 (縦 230mm × 横 90mm) の

数字を前・左・右に貼りける。



他イベントで使用のゼッケンの流用も認められる。但し、大会名等は露出しない事。

●CC-Class は、ウィンカー・ハザード装備を義務付ける。

走行時は、前照灯を点灯しリア・フォグも点灯もしくは点滅させる事。(視認性確保)

●SC-Class 6 点以上のロールケージの装備を推奨する。

ライセンス

現状イベントライセンスは設定しない。

但しイベント期間中、日本国内で有効な普通自動車以上の運転免許証所有者(免許停止中は参加不可)および主催者が認めた者。

ドライバー装備

アクシデント発生時に自分自身の身体を守る装備である為・・・

JAFの安全規定に沿った装備がましく、極力その規定に近づいた装備で参加する努力「をして下さい。

○いかなる場合も肌を露出させてはならない。

○耐火性レーシングスーツ、レーシングギアを強く推奨する。

用意できない場合は綿 100% のツナギとする。ツナギ形状以外の装備は認めない。

○グローブは必ずレーシンググローブとして市販されているものを使用する事。

(FIA 公認や SFI 公認等 の有無は問わない)

○フェイスマスクおよび難燃性下着を強く推奨する。用意できない場合は綿製を着用する事。

○2輪用ヘルメットでも可とするが、半キャップは認めない。

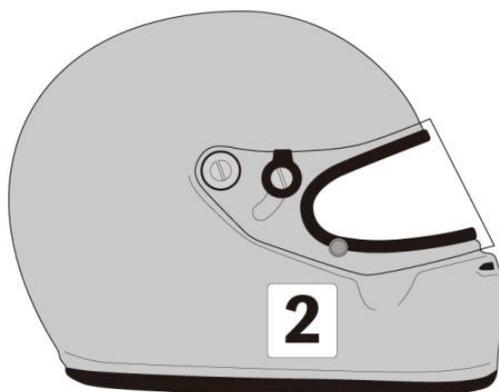
4輪ヘルメットを強く推奨。

CC- Class はなどフロントガラスの無い車両に乗車する際は、4輪用フルフェイスである事。

ヘルメットには、各チームのドライバーをピットエンドで確認する為、

受付時に事務局より配布された 5cm × 5cm の番号シールをプログラムに掲載している番号と同一の数字をヘルメット右側面下側に貼り付けて下さい。

※出走順と異なっても構いません。必ず右側に貼る事。



大会ルール

車検

イベント当日の車検に合格する事 なお、前日の土曜日にも車検対応致します。
前日(土曜日)の特別有料スポーツ走行で走行時の音量もチェック可能。

予選/ダミーグリッド

予選は、行わない。大会前日までに HP および当日事務局にて掲示。
基本、排気量の大きなクラスから順にコース上イン側に斜め 45 度に停車。

スタート進行

3分前 スタッフは、コースより退去。(1分前ボード掲示以前のエンジン始動不可)
1分前 エンジン始動。(ダミーグリッドも1分前ボードを2ヶ所掲示。ドライバーは要ボード確認)
メインポスト: 緑旗 スタート。ペースカー先導(周回数に含まれる)のローリングスタートスタート後
3周は全周にわたり黄旗により追い越し禁止。(天候や隊列等の状況により周回数は変動)
各ポスト: 緑旗 ペースカーが、ピットロードへ進入し隊列の先頭が、メインポスト手前で
「緑旗」 全車追い越し可能に。ローリングラップ中に隊列を整えることのできない車両へは
各ポストより指示、メインポストからはゼッケンを掲示しますので指示に従い直ちにピットイン。
全車スタート後、オフィシャルの指示に従い再スタート。
車両トラブルの場合は、後方車両に注意してできる限りコース右側に寄って走行すること。
また、スロー走行時にはハザードランプを点灯した上で速やかにピットイン、もしくは安全な
位置に停止。スロー走行車両の追い抜きは、ハザードランプを点灯や挙手などで示された
場合のみ可能。それ以外は追い越し禁止。(但しポストからの指示のあった場合はポストの
指示に従う)これらは、これらは、セーフティーカーラップ中も同様である。

ゴール(チェッカー)について

ゴール後について チェッカー後は、安全を確保しつつ減速し
約半周で #9・#10 ポストの中間よりセーフティーカー(以下 SC)が先導しピットロード出口へ。
ピットロードを逆走して(ピットロードにおいてはサインガード側・ピット側で出迎えますよう)
ピットロード入り口を右に U ターンしてメインストレートに 3 列縦隊で保管。

完走認定は、義務給油回数をクリア し、チェッカー優先となります。

なお、危険回避の為、コース上の待機は認められません。
待機する場合は必ずピットにて待機して下さい。

ゴール後 SC 先導でピットロード入口誘導し参加車両は(通常のフィニッシュも同様)
SCに続いてピットロードを逆走します。チーム員・仲間は、拍手で迎えて下さい。
その後、ピットロード入り口よりコースに戻り整列。

ドライバー認識

ピットアウト時にピットロード・エンドでヘルメットに貼られた識別シールを確認いたします。

※必ず一時停止。 一時停止しない場合はペナルティの対象となります。

ドライバー交代

ピット前及びピット内とするチームは、支給された用紙にドライバーの番号・名前、交代時間、を記入しイベント終了後に事務局へ提出(イベント中にオフィシャルがチェックする場合があります)

ドライバーの連続運転時間は、90分までとする。 休憩時間は、60分間。

ドライバーサポートは、2人までとする。

ピット前作業

ピット前作業は、軽作業(ミラー調整・クリップナット増し締め・内圧調整等々)およびドライバー交代のみ。それ以外の作業は、ピットエリア内で行う事。

ピット前人員は、ドライバーサポート-2名・メカニック(実際に車輦に触れる)-3名 計5名までとする。

(15歳以下は不可)車輦を停止させる際にチーム員は、車輦の進行方向上に立たない。

(ストップボード等を活用の義務付け)。車検時にストップボード・清掃用具(ちりとり・ほうき等)を確認。

作業が終了したら履き掃除をする。(ほうき・ちりとりを自チームにおいて用意しゴミは各自持ち帰り。

燃料給油

燃料給油はサーキット内のガソリンスタンドで行う。給油量は無制限とする。

スタート時の積載量は、自由。1L~20Lで小数点以下のオーダーは無しとする。

但し、フルタンクにする場合は、20L以下のみ認める。給油回数は、全クラス5回。

33番ピットより給油ルートへ進入(速度制限 20km/h)。

給油をする前にウェイティングエリアで2分待機する(作業禁止)。

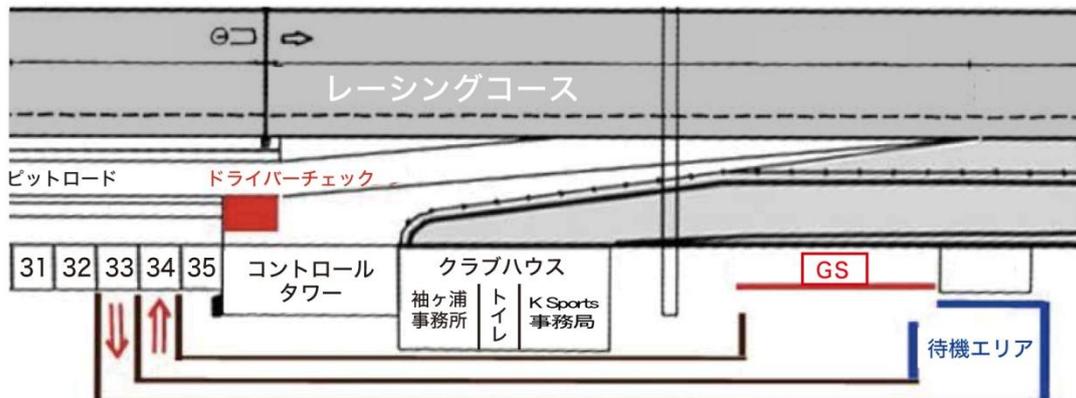
待機時間の計測はウェイティングエリアで開始とする。

待機時間の測定、給油補助はチームスタッフが行う(オフィシャル確認)。

給油口の開閉は、チームスタッフが行い、給油量を確認し伝票にサインをする。

給油時間帯は、8時30分~16時まで。(16時で進路クローズ)

燃料の精算はサーキット事務局にて各チーム毎、現金にて精算。(カード等使用不可)



サインガード

入場は、3名までとする。日除けテント等は突風対策の観点からしっかり固定して設置する事。

ピット裏のテント

5m幅の通路を確保の事。その際、しっかりとウェイト等で飛び防止をする事。

セーフティカー(SC)

- セーフティカーは、先頭車両の位置に関係なく導入される。
- セーフティカーが入った場合、各車 1 列の隊列を作り、走行する事。
- SC ラン中のウェービングは禁止する。
- 隊列について行けない車両は、明確にコースの右側に避けて走り、後続車両に合図を送る事。
何も合図が無い車両には、メインポストからオレンジボールを提示する。(スタート時のローリング中も同様)

発信機(トランスポンダ)

- 取付けは競技中外れないよう確実に固定すること。走行終了後、事務局へ速やかに返却すること。
- リタイヤした場合には、車両が戻り次第速やかに事務局に返却する事。
- 発信機を破損及び紛失した場合は、各自の負担で弁償となる。

使用ポスト

使用ポスト M・2・5・6・8・11・14 以上7ポストとする(暫定)

信号旗

オレンジボール黒旗と車両ナンバーが出た場合

当該車両は、提示から 3 周以内に自己ピットに戻りオフィシャルの指示を仰ぐ事。

赤旗

- 走行中赤旗が提示された場合、全ての計時が止まる。
- 走行車は提示後、追い越し禁止としコース上の計測ライン手前(メインフラッグタワー手前の線)に交互に 2 列で整列する。その際、追突に注意する事。
- 赤旗時、走行車両はピットには入らない事。
(ピットロード入口、給油所入り口は赤旗提示と同時に閉鎖となる)
- ピットインと給油を予定していた車両は、ピットロードの計時光電管手前を先頭に 1 列で並ぶ事。
- すでにピットまたはピットロードに入っていた車両の作業の継続は可能。
作業終了後にピットロードエンド信号手前で待機。
(再スタート時ピットエンド信号に従いコースイン)
- 再スタートは、セーフティカー先導によるローリングスタートとなる。

そのほかの信号旗については

資料 2 : 各ポストからの信号旗をご参照ください。

ピットロード、給油ルート**の速度制限**(速度計測は主催者の計測による)

- ピットロードの速度制限は 30 km/h とする。
- 給油ルート**の速度制限**は 20 km/h とする。
- 違反した場合は自己ピットに戻りオフィシャルの指示を仰ぐ。
- 違反車両は場内放送およびモニター内にて表示。

ペナルティ

- オレンジボール黒旗 + ゼッケンナンバーの提示
(黄旗の無視、スタート時のフライング、ホワイトラインカット、危険走行等) された車両はペナルティを受ける。
提示から3周以内に自己ピットに停止後、オフィシャルの指示に従いペナルティを消化する。
 - オレンジボール黒旗の提示から3経過して自己ピットへの進入が無い場合はタイムペナルティや周回数の減算。場合により失格もありえる。
- ※ルールを守れないチームは、次回エントリー受付時に加味しエントリーを受理しない場合もあります。
(非常識行為等)

※ペナルティ例

- ホワイトカット(イン/アウト共に)
- ピット作業エリア走行
- ピットロード・給油ルート**の速度超過**

その他

- イベント中はコース上でのスピンや危険回避のリカバリー以外は、
コース上でバックギヤの使用は、禁止(給油コース・ピットロード等も含む)。
但し、やむを得ない場合のみバックギヤの使用を許可する。
- スタートから8時間の総合トップ車両がコントロールラインを通過した時点からチェッカーが振られる。
- 天候により、競技時間が変更になる場合がある。
- コース上の待機について: ストレート上での停止は重大な事故が起こる可能性があるため厳禁とし、
厳重なペナルティを科す。
コース上でやむを得ずスロー走行となる場合、
後方車両に注意してできる限りコース右側に寄って走行をすること。
また、スロー走行時にはハザードランプを点灯する
- イベント中いかなる場合もコース上で停止しての待機は禁止。(燃料調整等)
コースでの待機はペナルティの対象となる。

一般規定

ピットおよびピットロード、サインガードの利用

- ピットロードは競技車両優先。(ピットロードはコースの一部)コース、ピット、ピットロードは火気厳禁。
 - 小学生および幼児のピットロードおよびサインガードへの立ち入りは禁止。
 - ペットの同伴は不可。
 - イベント中、運動性の悪い履物でのピットロードへの立ち入りは禁止。
例)かかとの固定出来ないサンダル(クロックス系含およびハイヒール等)
 - イベント中の傘の使用禁止。
- ※これらが守られない場合は、タイムペナルティを科す場合がありますので周知徹底下さい。

チームリーダー

- チームリーダーとチームリーダー代理を必ず置く事。(ドライバー兼務可)
- チームリーダーもしくはチームリーダー代理は、発表されたレギュレーションを理解しチーム員に周知徹底をお願いします。

ゴミ処理

- ゴミは、原則各自持ち帰る事。○サーキット備え付けのゴミ箱は使用禁止。

施設および物品の破損

○タイミングモニター

- アナログTVモニターのみタイミングモニターの視聴がピット内にて可能となります。
- アナログTVモニターは無償にてお貸し出します。同軸ケーブル(約10m)100V延長ケーブルをチームにてご用意下さい。(事務局での用意は一切ありません)
- お貸し出したアナログTVモニターはトランスポンダと共にご返却して下さい。

- コースも含め施設や発信機などを破損した場合は、イベント当日の内に処理し、各自の負担で弁償とする。

その他

- 無線機の使用については エントリー用紙にて申請して下さい。
- 媒体の取材等を受ける際は、事務局に事前申請をすること。
- 動画配信について 車載カメラ等による動画配信・録画は許可する。
ただし個人の趣味の範囲でおこなうこと。
- 有名な動画タレントなど、収益を得る番組の動画撮影は事務局にご相談下さい。
- 動画をもとにした抗議は一切受け付けません。
- アクシデントが起きたりした際は事務局から動画の提出をお願いすることがあります。
その際はご協力をお願い致します。

以上の規定は、イベント毎に変更になる場合がありますので HP 内公示をよくご確認下さい。

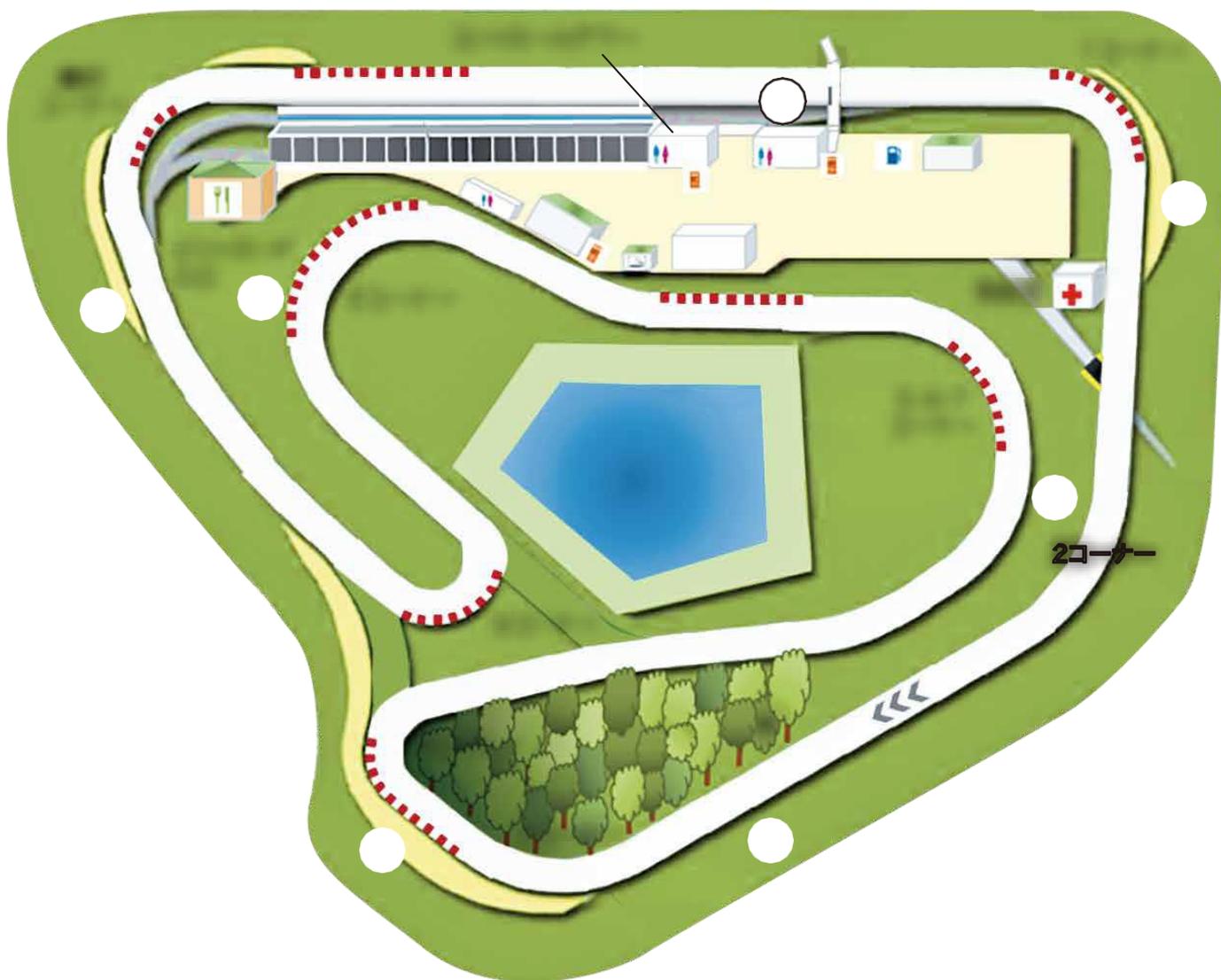
資料 1 : コースガイド



使用ポスト

M・2・5・6・8・11・14 以上の7ポスト

コース長	2,436m	コース最大幅	18m
コーナー数	14	コース最小幅	15m
最大R	220m	ビット数	35
最小R	25m	コースポスト数	15
最大斜度	4.2%	監視カメラ	20台
メインストレート	400m		



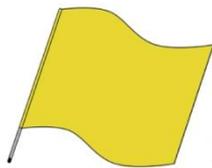
資料 2 : 各ポストからの信号旗

サーキット走行は、すべてフラッグ(信号旗)などの信号合図に従って行われます。

信号合図の無視、軽視あるいは認識不足は

すべて重大事故につながりますので

信号旗の意味をよく理解して下さい。



危険箇所あり
速度落とし
追い越し禁止

黄旗 (イエローフラッグ)

1 本振動表示

速度を落とし、追い越しをしないこと。

進路変更する準備せよ。

トラック脇、あるいはトラック上部に

危険箇所がある。



コースが
滑りやすい

オイル旗

不動表示

コース上に、オイル、水、砂利等で滑りやすい箇所がある。

注意して走行せよ。



重大事故発生
競技中断

赤旗 (レッドフラッグ)

振動表示 (追い越し禁止、右側走行、最徐行)

重大な事故発生全車走行中止の合図であり、サーキット内の全(使用)ポストで表示される。

すべての車両は最大限の注意を払い、必要に応じて停車できる態勢をとる。



後続より
速い車両接近

青旗 (ブルーフラッグ)

不動表示

後方より、自車より速い車が接近中、注意せよ。

振動表示

後方の自車より速い車が追い越そうとしている。

なるべく早い機会に後続の車両を先行させなければならない。



レース終了合図

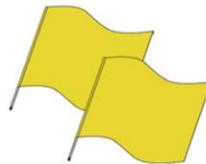
チェッカー旗

振動表示

レース(走行)終了。コース1周後、パドックに入れ。

Wチェッカーはペナルティ。

チェッカー後は追い越し禁止



極めて危険箇所あり
大幅に速度落とし
追い越し禁止

黄旗 (イエローフラッグ)

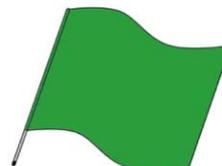
2 本振動表示

速度を大幅に落とし、追い越しをしないこと。

進路変更あるいは停止する準備せよ。

トラックが全面的または部分的に塞がれているような危険箇所がある。

あるいはマーシャルがトラック上、あるいは脇で作業中である。



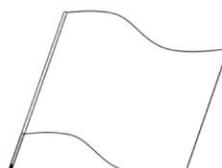
規制解除
走行可能

緑旗 (グリーンフラッグ)

振動表示

事故現場の直後のポストで表示される。

先に合図した黄旗などの規制解除。



コース上に
低速車両あり

白旗

振動表示

ゆっくり動く車両がある。あるいは緊急車両が走行中。

走行に充分注意せよ。

コース上に低速車両あり



故障、もしくは
ペナルティ

オレンジボール旗 + ゼッケンナンバー

不動表示

車両に機械的欠陥、またはその他ペナルティ等問題ありで、

危険と思われる場合に表示される。

安全を確保しながら確認次第ピットストップせよ。

(3周以内に消化しない場合はさらなるペナルティあり)